

「はつらつ農業塾」における研修受入体制の充実に向けた取組

1 対象

一宮市及び稲沢市、関係農業者（ＪＡ愛知西夏秋なす部会 25 戸、ＪＡ愛知西だいこん部会 19 戸、ＪＡ愛知西尾西白菜部会 11 戸、木曾川玉葱採種組合 6 戸）うち夏秋ナス研修受入農家 1 戸

2 背景

「はつらつ農業塾」担い手コースの２年目は、生産部会の研修受入農家で現場実習を行う。現場実習の進め方は各部会の研修受入農家がそれぞれの方法で対応しており、部会によっては受入農家の高齢化等により、後継者へ研修受入を引き継ぐ必要性が生じている。そこで、研修受入後継者が研修指導内容を引き継いでいけるよう「見える化」することとし、研修受入実績の多いＪＡ愛知西夏秋なす部会において、研修受入農家や卒塾生から指導内容を聞き取り、研修受入ガイド（案）を作成した。令和６年度は、ガイド（案）を研修受入農家に試行してもらい、改善してガイドを完成させることとした。

3 活動の内容

(1) 研修受入ガイド（案）の試行

研修受入農家にガイド（案）を使って、今作の夏秋ナス栽培の研修指導を行ってもらうようにした。また、研修生にもガイド（案）を配付し、学んだ内容をガイド（案）に記録してもらった。

(2) 研修受入ガイド（案）の改善

研修生が記録したガイド（案）を研修受入農家に確認してもらい、改善点について適宜、聞き取りを行った。作業時期の変更や作業項目の追加、栽培方法の細かな点は受入農家により異なることを明記するなどの意見が挙げられた。研修生からの意見も参考に記録欄を増やす、図を見やすくするなど修正を行った。

4 活動の成果

実際に研修でガイド（案）を試行してもらうことで、重要な栽培作業が確認でき、栽培作業の流れと研修指導内容をすり合わせることができ、次期作の研修から活用できる「夏秋なす研修受入ガイド」を完成させることができた。また、文字だけではなく図示したことや、卒塾生から今後の研修生のために積極的な提案があったことが、研修生にとって分かりやすいガイドの完成となった。

夏秋ナス年間カリキュラム

時期	項目	内容・方法・注意点
12～1月	土づくり	堆肥 投入量
		土壌改良材 土壌診断
2～3月	土壌消毒	
4月上旬	圃場準備	幅、組み方、パイプ必要量 防風ネット長さ、目合い 品種、必要量
定植前		支柱・防風ネット・ソルゴーの設置
定植前		基肥施肥 土壌診断結果と施肥基準を参考
定植前		畝立て、マルチ張、かん水準備 畝幅、通路幅、手順 配管設置方法
4～5月	定植	定植時期
		植え方 浅植え
		定植時害虫対策 防除暦を参考
		誘引用支柱 幅、本数、手順
定植～栽培終了	栽培管理	株間 60～80cm
		ホルモン処理 第1～2果まで
		誘引 遅れないように
		整枝方法 一果一果
		適葉 古くなった葉から
		かん水 天気を見ながら、夏場は多く
		摘果 不良果、障害果は早めに、草勢管理
		追肥 肥切れの症状、判断基準
		病虫害防除 防除暦を参考
		台風対策 通過前・通過後 圃場の点検・防除
		選別 目揃い会に参加
		除草

図 研修受入ガイドの一部